

大関のこども

12月後半号

R2 校長室だより 第15号
令和2年 12月21日

HP アドレス
<http://www.ozeki.ed.jp>

令和2年を表す漢字は「密」！ 新語・流行語大賞は「3密」！！

校長 濱辺 弘一

令和2年も残りわずかとなりました。12月は一年の締めくくりということで、今年の世相を表す漢字に「密」が選ばれました。新語・流行語大賞でも「3密」が選ばれ、まさに、新型コロナウイルス感染症対策に奔走した一年でした。

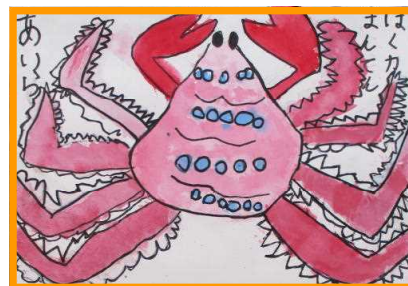
本校でも、新型コロナウイルス感染対策の工夫や徹底を図りながら、3か月に及ぶ臨時休業による学習の遅れを取り戻すための時間の確保に努めてきました。現在、家庭科の調理実習や音楽の合唱等を3学期に移行しているところもありますが、どの学年も例年通りの学習進度に戻ってきています。ただ、スクールプランの研究主題「**児童が『使いたい』『広げたい』『深めたい』と感じる授業づくり**」に沿うような授業が、思うように進められないでいます。児童・保護者・教師による学校評価の結果を振り返り、今年度の課題として次年度につなげていきたいと考えています。子どもたちのための「今」は、一生に一度きりです。身につけなければならない学習内容や考え方・心の成長は、その「今」に身につけることができるようにしなければならぬと考えています。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

年末年始は、家庭で過ごす時間が多くなります。そして、家庭でのいろいろな体験は、子どもの心を大きく成長させるチャンスです。人の役に立ったという自信は**自己肯定感**を育みます。最後までやり遂げると**責任感**が身につきます。自分のことは自分ですることは**自律**を促すことになります。早く正確に工夫しながらすることは**先を見通し考える力**の育成になります。また、お年玉の使い方は**金銭感覚の育成**になります。

年末年始は、人の動きが多くなります。新型コロナ対策の「3密」や検温・体調管理も継続して取り組んでいただき、新しい年“令和3年”を迎えていただきたいと思います。

コロナに負けない！
8つの約束

- ま** スクで守ろう、自分と相手
- け** んおんで、毎朝体温チェック
- る** ーを守って、コロナ予防
- な** やみがあれば、すぐ相談
- お** おきな声は、ひかえよう
- お** たがいの距離は、ソーシャルディスタンス
- ぜ** んいんで、しっかり手あらい30秒
- き** れいな空気、換気しよう

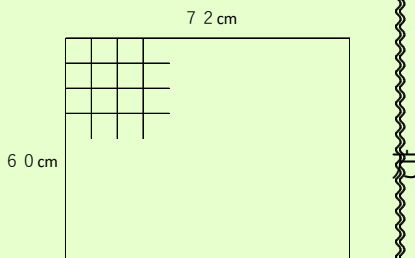


5年生は『SASA2020（福井県学力調査）』に取り組みました！

12月10日(木)11日(金) 5年生はSASA2020（福井県学力調査）に取り組みました。児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における児童生徒への学習指導の充実や、学習状況の改善等に役立てることを目的として福井県独自に行っているものです。今年で、第69次になります。SASAでは基本的な知識を問う問題だけでなく、知識を活用する問題も出題されており、これからの社会を生き抜く子どもたちにとって「活用力」を養うことが重要とされています。下のような問題が出ました。日常よく見かける場面ですね。「活用力」とは、学習したことを用いて考えていきます。「活用力」身についていますか？

★算数の問題から★

たて60 cm、横72 cmの長方形の紙を、たての長さが9 cm以上、横の長さが14.5 cm以上の長方形に切り分けたい。余りが出ないように、できるだけたくさんの長方形に切り分けるとすると、長方形は全部で何枚できますか。



答え **ミニ** 枚



2年生の「大関ランド」 1年生と先生方を招待して、盛大に開催されました！

12月11日(金) 2年生が「大関ランド」を開き、生活科「うごくうごくわたしのおもちゃ」の学習で作った動くおもちゃのお店を出しました。紹介するためや遊ぶための準備も工夫されていて、招待された1年生や先生方は、みんなで楽しい時間を過ごすことができました。こういう体験活動を通して、相手の立場に立って考えることの大切さやみんなで楽しむためのコミュニケーション力等が養われていくのだと思います。2年生のみなさんの成長は素晴らしかったです。



先生方の学習会！「ポジティブ教育研修会」で児童の心を育てるプログラムを学びました！！

福井県は、児童生徒の「幸福を自ら創り出していく力」を学校教育において育てるために、社会性と情操の教育を応用した「ポジティブ教育」に取り組んでいます。今後、坂井中学校区の小中学校でこの活動を取り入れていくことになりました。12月8日(火) 大関小学校と木部小学校合同の研修会が行われました。「ポジティブ教育」には次の3つの柱があります。

- ①社会性を育て、いじめ等の予防につながる『**ソーシャルスキル教育**』を柱としたプログラム
- ②仲間同士の認め合い、支え合いが可能になる『**ピア・サポート活動**』を柱としたプログラム
- ③逆境に負けない心を育てる『**レジリエンス教育**』を柱としたプログラム

このポジティブ教育により子どもたちの心の成長を育み、グローバル化や人工知能・AIなどの技術革新が急速に進み、予測困難なこれからの時代を乗り切ることができる子どもたちに成長してほしいと考えています。



大関きらら独り言

この頃の若者の様子について調べていたら、【冒険者ブログ】の中に、**10歳までに身につけたい生きる力！【非認知能力】**という記事がありました。

学力より大切な非認知能力！ 「子どもに身につけさせたい能力No1」

非認知能力とは・・・正解のない問題に対して自分なりに模索し、相手と協力しながら忍耐強く探求し続けることのできる力

非認知能力に・・・主体性、想像力、自制心、自己肯定感、共感力、対処力、必要な要素 やる抜く力、自信、社会性

非認知能力の高い子の特徴

- ★わからないことに会すると、自分で調べようとする。
- ★粘り強さを持っている。つまり、諦めない強い心がある。
- ★自分ならできるという自信を持っている。自己肯定感が高い。
- ★何回も問題に立ち向かう継続する力がある。
- ★自制心を持って計画を立てたり強い意志を持って取り組んだりする姿勢がすごい。
- ★周りの状況に合わせられる。
- ★共感する力や社会性も高く、リーダー気質も持ち合わせている。

非認知能力を高めるのは、実は家庭です。非認知能力を伸ばすのは、小学校4年生までです。この時期までに家庭環境を整え、非認知能力を伸ばすことができれば、大人になった時に、「どんな状況でも生きられる力」が育ちます。

どういことを家庭ですれば、非認知能力を高めることができるのでしょうか？

- ・自己肯定感を大切にあげる
- ・子どもの意見をしっかり聞く
- ・否定的な言葉を使わない
- ・オウム返しにして、「〇〇ちゃんはどう思う？」「〇〇なのはなんでだと思う？」
- ・子どものやりたい！に協力する
- ・子どもの行動の理由を聞く
- ・答えをすぐに言わない